

尾上 青年部がソバの栽培に大奮闘

J A津軽みらい尾上地区青年部（白戸雅幸部長）は12月13日、ソバの脱穀作業を行い、部員4人が参加しました。当部員の圃場約5畝でソバを栽培し、10月中旬に約12tを収穫後乾燥させました。棒でたたいて脱穀した後、選別機を使い、ゴミなどを取り除きました。今後は脱穀したソバの実を使い、手打ちソバの作成を予定しています。

当青年部は、毎年行っている農協祭で来場者にソバを振る舞いたいと思い、平成29年からソバの栽培に挑戦しています。



こんにちは!

支店の時間です

その名の通り、支店発信の情報を紹介するコーナー☆各支店の広報委員が、身近な出来事をお伝えします。皆さまからのホットな情報もお待ちしておりますので、最寄りの支店へご連絡ください。



常盤 認知症への理解深める

常盤基幹支店は12月12日、当支店で認知症サポーター養成講座を開き、組合員21人が参加しました。認知症などに対する理解を深め、高齢者や地域住民に優しい地域づくりを目指します。

藤崎町地域包括支援センター認知症キャラバンメイトの方が講師となり、認知症になる原因や健常者との物忘れの違いなどの説明や、手助けや自尊心を傷つけない優しい対応の仕方を寸劇で説明しました。参加者は「もっと皆さんに認知症サポーターを知らせてあげたい」と話しました。

石川 料理と生け花でコミュニケーション

J A津軽みらい石川支部（工藤美津江部長）は12月9日、石川公民館で地域住民との交流を深めようとわいわい交流会を開き、21人が参加しました。

料理講習会では、Aコープ商品を使った簡単に作れる伊達巻きや、おせち料理を調理し、試食をしました。フラワーアレンジメント講習会では、クリスマスに向けたアレンジメントを楽しみました。完成した作品は、参加者が各自持ち帰り、支店前にも飾られました。

参加した女性部員は、年に1度の交流会をととても楽しんでいました。



黒石 フレッシュ朝市が姉妹都市と交流

J A津軽みらい女性支部が運営するフレッシュ朝市は12月1日から2日、「黒石市姉妹都市交流事業」を活用し、岩手県田老町で総会と視察研修会を開き、会員20人が参加しました。

道の駅たろう産直交流施設の「とれたろう」や、田老町漁業協同組合のわかめ工場などを視察し、運営などについて意見交換を行いました。終了後に行われた交流会では、とれたろうの理事長夫妻、田老町漁業協同組合の参事と懇談し、「黒石よされ」「黒石甚句」などを一緒に踊り、親睦を深めました。

平賀 JAでの活動を展示

平賀基幹支店前（平賀駅構内隣り）には、JAなどでの活動を展示することができるショーウィンドウを設置しています。12月中旬から1月中旬にかけて、JAカルチャー講座で作成したマクラメの作品が展示され、JAや駅を訪れた方を楽しませていました。現在は平川市立金田小学校5年生が作成した「バケツ稲川柳」を展示しています。お越しの際にはぜひお立ち寄りください。

☆作品展示大募集！作品を展示したい方は、総務部総務課（☎44-6081）へお問い合わせください。



板柳 総会で事業報告と収支決算の確認

11月28日、板柳基幹支店で「第8回板柳みらい会通常総会」が開かれ、会員20人が出席しました。成田清行代表理事専務が役員新任の報告を兼ねた挨拶を述べた後、当基幹支店の吹田健二課長が進行役を務め、審議に入りました。

吹田健二課長が、議案第1号平成29年度事業報告並びに議案第2号収支決算について説明し、無事に承認されました。



田舎館 グリーンセンターで書道展

田舎館基幹グリーンセンターは12月中旬、同センター内に小・中学生書道展のコーナーを設けました。

書道を通じて礼儀正さ・集中力を養い、豊かな表現力を育むために実施しています

書道展には多くの家族連れが訪れ、子供たちが書いた作品を楽しみました。